

2023.01.08. イエスはあなたに現実の存在

第二ペテロ 16 節～21 節

JD ファラグ牧師

親愛なる主よ、新年も私たちが祝福して下さいますように。この数年、主よ、もちろん困難でしたが、私たちがここにいることに感謝します。このように、私たちが共に礼拝し、唯一の御名を賛美する機会を与えられ感謝します。今朝、私たちがここに座り、あなたをご用意された教えを受け取る時も、共にいてくださいますように。主よ、私たちの心に引っかかるものがあれば、今朝はそれをあなたに委ね、心を澄まし、集中できますように。この時間を感謝します。この場所に感謝します。私たちはあなたを愛しています。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。オンラインで参加されている方も歓迎します。ご参加くださり、大変嬉しいです。始める前に、ちょっと時間を取って、私の家族と私への皆さんの寛大な心遣いに個人的にお礼を言いたいと思います。頻繁に言うことですが、聞き飽きたと言われるかもしれませんが、私は本当に、自分は世界で一番甘やかされた牧師だと思っています。文句じゃないですよ。私はただ.....皆さんは最高です。本当にお礼を言いたいです。皆さんは、牧師の仕事をとて楽しいものにして下さっています。家族と私に対してとても思いやりがあり、寛大です。それを言いたかったのと、新年のご挨拶もしたいです。新年あけまして、おめでとうございます。(会衆：新年おめでとうございます)

第一礼拝で、修辭的に聞きましたけど、1月の何日から、新年おめでとうと言わなくなるのでしょうか？2月ですか？ 疑問に思いませんか？ まあ私の問題はもう十分ですね。というわけで、新年あけましておめでとうございます。まだ8日なんですけどね。新年あけましておめでとうございます。

では、「第二ペテロの手紙」の節ごとの学びを再開します。御心なら、今日で1章を終えます。この箇所では、主が私たちに何をご用意されているか、本当に楽しみです。では、ここにいらっしゃる方で、可能な方はお立ちください。ご無理な方は座ったままで結構です。私が読むのに、ついてきてください。

16 節から、使徒ペテロが、聖霊によって、非常に興味深いことに、こう語ります。

—II ペテロ 1:16—

私たちはあなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨を知らせましたが、それは巧みな作り話(巧妙に仕組まれた寓話)によったものではありません。私たちは、キリストの威光の目撃者として伝えたのです。

—II ペテロ 1:17—

この方が父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、厳かな栄光の中から、このような御声がありました。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

—II ペテロ 1:18—

私たちは聖なる山で主とともにいたので、天からかかったこの御声を自分で聞きました。

—II ペテロ 1:19—

また私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています(より確かな預言の御言葉)。夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。

—II ペテロ 1:20—

ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。

—II ペテロ 1:21—

預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

ご一緒に祈りましょう。主よ、あなたの御言葉に感謝します。今朝、私たちの前にある御言葉箇所を感謝します。

主よ、あなただけがおできになる通り、そして、いつもそうであられるように、聖霊のあの静かな小さな御声で、私たちの人生にはっきり語ってくださる事を、大きな期待をしながら、待ち望みます。

主よ、あなたが御言葉を通して語られるとき、私たちはそれがあなただと分かります。あなただけが、私たちの全てを知るお方だからです。他にはいません。だからこそ、あなたの御言葉は「両刃の剣」のようで、とても鋭く外科的にたましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫かれます。主よ、御言葉の剣が、切るべきところを切ってください、必要なら、私たちの心から取り除くべきものを取り除いてください。なぜなら、主よ、あなたは私たちの心をご存知だからです。今日、私たちが心の様々な思いを持ってこの教会に来たことを、あなたは知っておられます。主よ、感謝します。あなたの私たちに対応する方法は、お優しく、ご忍耐され、私たちに長く苦しんでおられます。主よ、感謝します。今日の御言葉に感謝します。今、私たちは、あなたが必要です。あなたに注意を向けるだけでなく、私たちの注意を保ってくださいように。私たちは、決して心が彷徨いたくありません。もちろん敵は、それを望み、私たちがあなたにご用意された事を見逃してほしいのです。ですから、主よ、どうかはっきりとお語りください。私たちは、あなたに全集中します。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。

今日、私が皆さんに話したいのは、どのように、どんな方法で、またもっと重要なのは、なぜイエスご自身が、私たちにとって現実なのかです。間違いなく皆さん、こんな風に祈ったことがあるでしょう。

「主よ、私に現れてください。私にご自身を現実に明らかにして下さい。」

それは、間違いなく神が答えてくださる祈りです。ただ問題は、どういう方法なのか？ です。神は、どのような方法でそれをなさるのでしょうか？ これはショックなことだと思いますが、神は、私たちが考えるような方法、あるいは期待するタイミングでそれをなさいません。むしろ、神は私たちに、ご自分の方法で、ご自分のタイミングで、ご自分を現わされます。使徒ペテロはここで、この箇所は間違いなく、「第二ペテロの手紙」全体で最も力強く深い節です。ちょっと大げさで、大胆な始め方をしていますが、その裏付けは、ペテロがここで私たちに、イエスに関する絶対的な保証、疑う余地のない確実性、反論の余地のない真実と証拠を提供していると断言できるからです。ペテロにとって、イエスは、とても現実的なご存在であることを知らなければなりません。つまり、ペテロは、イエスと一緒に時間を過ごしたのです。彼は個人的に、親密に、イエスを知っていました。ペテロはイエスと共に歩きました。ペテロはイエスと共に泣きました。あえて言うなら、ペテロはイエスと一緒に笑いもしました。ちょっと言い過ぎかもしれませんが、しかし、事実です。いいですか、笑いは真剣です。それは.....矛盾しているのは分かりますけど、私がそんな風に言うのは、これはまた別の機会の別の学びかもしれませんが、でも、笑いは薬になるのですよ。「箴言 17 章」14 節辺りだったと思います。(笑いは精神的、肉体的、感情的な健康に、実際とてもよいことです。神は、私たちに笑いをお与えになりました。笑いは、私たちの体内で化学物質を放出し、私たちを癒します。「笑いは百薬の長」というのを聞いたことがあるはずですよ。ところで、これは私の話で拘りですけど、私は自分のユーモアでよく怒られるんです。でも、やめませんよ。私は笑

うことが大好きです。笑うことが大好きです。だから、とても真剣なんです。笑いはとても真剣です。既に進行中の、学びに話を戻します。ペテロは、イエスを個人的に文字通り知っていました。イエスはとても現実でした。ですから、ペテロに対して公平に見て、この第二の手紙を聖霊に導かれ、彼が書くのは当然だと思います。今から見ていきます。私たちがこれから見るのは、イエスが、どのようにペテロにご自分を現わされたかということだけでなく、その理由についてもです。これはとても重要なことです。すべてに優って重要だと言ってもいいくらいです。イエスが、現実だというだけではなく、「なぜか」です。なぜ現実のご存在なのか。私たちはイエスを信じ、従う者として、苦難や困難があっても、揺るぎない信仰を持てます。(会衆の一人がくしゃみ) リンダ (くしゃみした人)、祝福しますよ。-(笑)- 一からやり直しましょうか。-(笑)- 何処でしたっけ？ 冗談です。愛してるよ、リンダ。どこまで話したかな？ お、「なぜ」の質問への答えでしたね。なぜでしょう。OK。「イエスは、私にとって現実です。」なぜ？ よくぞ聞いてくれました。聞きましたよね？ OK。答えは、これから先の日々々に苦難や困難が待ち受けていても、揺るぎない信仰を持てるからです。それが、ペテロが、当時の彼らや、今の私たちに向けて書いている理由です。以下は2つの方法で、その「方法」には、「理由」も織り込まれています。そのうちの2つ目は、言わば決定打で、イエスが絶対的にご自身を明らかにされ、それによって、あらゆる疑いを取り除いてくださいます。それが最も重要です。私たちには、より確かな、預言の御言葉が与えられています。合理的な疑いを越えるだけでなく、あらゆる疑いを越え、私たちには、揺るぎない不動の証拠があります。それが私を安定させ、私を落ち着かせます。私は不動。揺るぎない。1つ目は、16節から18節の通り、「奇跡を体験すること」これは、イエスがご自分を現わされる1つの方法です。あえて言えば、皆さん一人一人に聞くなら、一度だけでなく、人生で神がなさった多くの分かち合える奇跡があると思います。実際、そうしましょう。今すぐ始めましょう。-(笑)- どんどん続けられますよね？ そう、主はそのようにご自分を現わされます。ここでペテロは、私たちが「変貌山」と愛称する出来事を参照します。これは、ペテロとヤコブとヨハネが、イエスが変貌し、エリヤとモーセと共に栄光を受けられるのを目撃した時です。ペテロ、ヤコブ、ヨハネは、その場において、実際に目撃しました。現実には、彼らはそれを見たのです。理解するために、これがどれほど強烈だったかをこの奇跡の記述をもう一度見直すのがよいと思います。どの福音書にもありますが、「マルコの福音書9章」を選びました。2節から読みます。

—マルコ 9:2—

それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に登られた。すると、彼らの目の前でその御姿が変わった。

—マルコ 9:3—

その衣は(雪のように)非常に白く輝き、この世の職人には、とてもなし得ないほどの白さであった。これは、直視することもできず、とてもまぶしく、とても白かった。

—マルコ 9:4—

また、エリヤがモーセとともに彼らの前に現れ、イエスと語り合っていた。

それからペテロは、5節です。おお、私はペテロが大好きです。

—マルコ 9:5—

ペテロがイエスに言った。「先生。私たちがここにいることはすばらしいことです。幕屋を三つ造りましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

そして、ペテロがそう言った理由が6節に語られています。ペテロに任せましょうね。皆さん、理由を知りたいですか？

—マルコ 9:6—

ペテロは、何を言ったらよいのか分からなかったのである。彼らは恐怖に打たれていた。

そうなのですか？ つまり、私たちの多くは求めます。「主よ、あなたご自身を私に現わしてください。あなたのお姿を現してください。」本当にそうなさって良いのですか？ なぜなら、私が読んだ聖書には、主がご自分を現実にするたびに主が現実に現わされた人は、顔を伏せました。

「神よ、私は邪悪な人間です。」(まともに見れない)イザヤ(6:5)は言います。「主よ、私は、唇の汚れた者です。」「燃えさかる炭をとって、私の唇をきよめてください。」ただ、よく言うように、何を祈るのかには注意が必要です。「主よ、御自身を現してください。」私の担当の御使いたちが、こう言うのが聞こえるようです。「そんなことは祈らないで。あなたは、本当にそれをしてほしくはないはずです。」

もし主がそうなさったなら、皆さん、ペテロに厳しくしないでください。皆さんだって同じこと、またはもっと愚かなことをしたでしょう。それはちょっと厳しいですね。愚かかって？ まあ、考えてみてください。「幕屋を作りましょうか？」良い事です。私はこのままでは終われません。それって何も問題ありません。

「幕屋を作りましょう。主よ、この一つをどうぞ。そしてエリヤ、、、」

ところで、どうして彼らは、エリヤとモーセだと分かったのでしょうか？ 彼らには分かりました。どういふことか分かりますね。天国に行ったら分かります。天国では、名札はありません。「こんにちは、私の名前は.....」とは書きません。—(笑)—

これが私が話した笑いです。皆さんとても健康的です。ですから、(ペテロは)

「主よ、この一つをどうぞ。エリヤにはこれ。モーセにはそっち。私たちがここにいることはすばらしいことです。」

これは...誰もしゃべらない死の静寂の中にいると、どうなるかわかるでしょう。これは非常に気まずい。それで、誰かが何かを言わないといけないと思ったのですね。ですから、

「私は、私は、私はペテロだから、何かを発言します。何を言っているのかわからないけど、何かを言おう。」

いいですか、何を言っているかわからないときは、何も言わないことです。意味深いでしょ？

さて、ここにもポイントがあります。信じられないかもしれませんが、それをご紹介しましょう。

—マルコ 9:7—

そのとき、雲がわき起こって彼らをおおい、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。彼の言うことを聞け。」

—マルコ 9:8—

彼らが急いであたりを見回すと、自分たちと一緒にいるのはイエスだけで、もはやだれも見えなかった。

投げかけたい質問があります。ペテロは自分が目撃した奇跡の中で、なぜこのことに言及したのでしょうか？ 私がペテロなら、自分が恥ずかしい発言をした、この話題は出さないでしょう。私は基本的に、正される側ですよ。「幕屋を建てる？」何かを発言して、それを取り消したいと思ったことはありませんか？ 送信済メールはどうです？ 送信を取り消したいとは思いませんか？ そう、ペテロは確かにそう思っていたでしょう。しかし、驚いたことに、この数年後、彼は聖霊によって再びこの話を持ち出します。

なぜ？ ペテロ、君は何を考えているの？ 他にも奇跡はたくさんあっただろうに。イエスが「舟の右側に網を打ちなさい。」と、言われたときの奇跡は？

「あなたが一晩中、漁をしていたのは知っています。あなたがプロの漁師なのは知っています。わたしは何者かという、世の救世主です。魚を創造しました。」

彼らが船の反対側に網を張ると、おびただしい数の魚が捕れました。こちら側ではなにも捕れず、反対側で捕れたとすれば、その船はどんな幅か、と思うでしょう。そしてペテロが「主だ！」と言いました。当たり前のことでしょう。私がペテロなら、多分その話を持ち出すと思います。

「お前たち、イエスが私には現実なんだ。ある日、船に乗っていて、一晩中漁をしたが何も捕れなかったのに。」 私なら、変貌山の話はしません。なぜペテロはこの話を持ち出したのでしょうか？ なぜなら、どうかお付き合い下さい。彼は、イエスを、エリヤに代表される預言者のレベルまで下げ、そして、モーセに代表される律法のレベルまで下げたのです。イエスは、一よく聞いて下さい、律法を成就され、預言を成就されたお方です。律法や預言者のレベルに下がったではありません。イエスは、その成就者です。ペテロは今ここで、聖霊に導かれ、イエスがどのようにご自分を現わされるかを伝えようとしているのです。なぜなら、あなたはイエスが現実だと知る必要があるからです。なぜなら、敵はあなたに疑いの思いを起こさせる予定で、約束は守ります。そして疑いは、いつも時間通りに現れ、早い場合もあります。私は、あなたに起こる（敵の）約束のために、あなたを備えさせ、安定させたいのです。ですから、「もしも」ではなく、「その時」疑う思いが約束通りに来ても、あなたは動じません。どうしてそんなに確信があるのですか？ この奇跡のせいではありません。奇跡は起こるものですが、しかし、私は疑うことなく知っています。イエスは預言を成就されたからです。より確かな御言葉があります。想像して下さい。もし、ペテロが変貌山で経験したことと同等のものしか、私たちに頼るものがないとしたら、
「どうもありがとう、ペテロ。それはあなたに素晴らしいことですが、私はその場にはいませんでした。つまり、イエスはあなたには現実であり、あなたはその目撃者で、それを見た人です。でも私は？ 私は何を言えばいい？」

では、ペテロに聞いてみてください。「ペテロにとっては、イエスは現実だった。」いいえ。なぜかを教えてください。奇跡ではないのです。19節から21節にあります。

「さらに確かな預言の御言葉の成就」神の預言の御言葉の成就です。ペテロがここで言っているのは、イエスは、超自然的な奇跡を経験する中でご自分を現わされますが、さらに確かなのは、預言の御言葉だということです。言い換えれば、言わば、しるしや不思議は、神の預言の御言葉の成就がなければ、事実上、それ自体では不十分です。例をあげましょう。イスラエルの民を考えてください。紅海が割れたことを考えてください。彼らは、乾いた土の上を歩いたことを考えてください。これって奇跡ですよ？ それは現実でしたね。仮想ではありません。それはまた別の機会の別の学びに。当時は、仮想ヘッドセットなどありませんでした。現実の出来事です。その中で、神はご自分をとても現実的に現されましたよね。エジプト兵が後に迫り、絶対絶命。紅海が目の前で、絶対絶命。あなたが決心せねばならないのは、どうやって死にたいか。つまり、あなたは死ぬのです。溺死か？ 焼死か？ あなたの選択です。そしてあなたは祈ります。「神様、これは、あなたが私にご自分を現すとても良い機会です。」そして神は、そうなさいます。主は、モーセに言われます。

「モーセ、あなたの杖をとって、主の救いを見よ。」

そして、彼がすることはただ一つ... つまり、これは...神はユーモアのセンスがあられます。皆さん、よ

く考えて、この中のユーモアを見てください。とても健康的ですよ。笑いはとても真剣なことですね。このユーモアをご覧ください。ここにいる彼らは、パニックです。そして、彼らは既にモーセに敵対しています。彼らが何と言ったか知ってますか？

「エジプトに墓がないからなのか？ 荒野で死なせるために、神はわれわれを連れて来たのか。」

(出エジプト 14:11 参照)

「マジ？ 悪いのですが、私の勘違いでなければ、あなたがたはエジプトを出る前、十の奇跡を目撃したはずですよ。10も。災いの数々。あなたはそこにいたのでしょうか？」

「ええ。」「あれは現実でしたね？」「はい。」「あれは神でしたね？」「はい。」

でも、今ここであなたがたは、「私たちは死ぬんだ！」と言っている。

「あなたがたが死ぬなら、神はエジプトで殺されたはずでしょう。殺すなら、わざわざここに連れて来る必要はありませんよ。それって....。」

これ、ユーモアではないですか？ 私にとっては笑えます。というか、とにかく...モーセは杖を伸ばして、紅海を分けました。乾いた地面が現れた。これは奇跡です。どうか、ちょっと言わせてください。こう仰る人たち。

「紅海のある部分、実は葦の海で、すごく浅いんだ。強い風が吹いていれば、そういう現象が起こることがある。」

ちなみに、これが奇跡の問題点ですよ。ですから彼らは、ここまでで限界です。つまり、彼らは、神が超自然でなさったことを、自然現象で説明しようとしています。

「そう、条件が揃って、風があれば、紅海を渡ることができたんだ。」わお～想像力に「A」をあげましょう。それにしても想像力豊かですね。でも、質問があります。もっと大きな奇跡として、それなら神は、浅瀬でエジプト人を溺れさせた奇跡をなさったんですね。-(笑)- どうであろうと、それはそれでいいですが、奇跡です。

「分かりました。それで、牧師さん、何が言いたいのですか？」私の話の向かう先は、あなたがたイスラエルの民は、モーセを非難し、実際に神を冒瀆し終えたばかりです。そして突然、神が紅海を割られたので、あなたは「ふむ。。。」となります。「これは、神が私たちに進めと仰る方向だと思う。」-(笑)- 少しは、ユーモアがあるでしょう？ OK。良かった。今のところ大丈夫ですね。「神の御心は何？」

「もしも～し。」(ほら、見れば分かる。そこを進みなさい。) -(笑)-

「神様、ありがとうございます。」時間通りです。こうして彼らは紅海を渡りました。そして、神の奇跡はまだ終わってません。これは.....この結末を見てください。素晴らしい結末ですよ。彼らが紅海を渡り終えるまでにはしばらく時間がかかったでしょう。その間、神は火の柱でエジプト人の追跡を防いでおられました。そういえば、この奇跡は全く報道されませんね。放火魔の皆さん、この方が好きだと思えますけど。言ってみただけです。ですから神は、エジプト人をくい止めておられます。神は紅海を分け、民は乾いた地面を渡りました。それを見逃さないでください。濡れてもなく、湿ってもしません。乾いています。砂漠のように乾いていました。実際、戦車が横切った時に埃がでて、埃まみれになっています。巨大な水の壁がありました。想像できますか？ もし私がそこにいたら、「これはカッコいい！神よ、わお～!!!」そういうことなんで～す。-(笑)-

で、渡り終わると、、、(会衆：笑い継続中) 皆さん、今日ここを出るときには健康になっているでしょう。笑っているから。-(笑)- それで民が、対岸に到着し、神はこんな感じです。「よし、最後の仕上げ。

見ていなさい。」神は、あの火の柱を取り除かれ、エジプト人が猛追して来ます。神は待っておられ...
(こう観察しながら)「よし(エジプト兵)みんな入ったね。」全員溺れさせられます。今、対岸にいるイスラエルの民は、これを見て、こんな感じです。

「ちょっと待って。まだ追いかけてくる。神よ、エジプトには十分に墓がなかったのですか？」
いや、少なくとも彼らはその時点ではそんなことは言いません。2、3日後にですよ。それが私の言いたいことです。それから彼らは、エジプト人全員が溺れるという、奇跡の中の奇跡を目撃します。彼らの反応が、私たちの反応です。実は、モーセの姉ミリアムが、彼らを率いて賛美します。民は神を称えます。お〜記されているのは栄光の歌です。歌詞を読むことができます。主を賛美する輝かしい歌(詩)。お〜ある人が言ったことが好きです。「正しい賛美を、間違っただけでしている」「第二歴代誌20章」のヨシャファテを考えます。神が彼に仰って、彼らは滅びました。これも別の紅海ですね。彼らはどっちにしろ終わり。いつ、どのようにするかが問題なのです。神はこう仰います。何か分かりますか？ 彼は祈り、彼らは断食して、戦いは--「これはあなたの戦いではない。」と神が仰います。この戦いは主のもので。すべての戦いではありませんが。時に、私たちは戦わねならないこともあります。主は私たちに霊的な領域で戦うための力と強さを与えてくださいます。でも、これは戦わなくてよいと神は仰いました。

「ここで、あなたにしてほしいことがあります。賛美チームを集め、送って欲しいのです。既にあるあなたの勝利のために、わたしを褒めたたえてほしいのです。わたしを讃え、賛美し、前もって、わたしに感謝してください。そうすると、わたしが何をしたいのか分かります。とてもよいことです。とてもよいことです。」

そして、勝利は彼らのものとなりました。正しい賛美、間違っただけとは、ある人が言ったように、彼らは信仰で、神を賛美するのではなく、神がこの奇跡を起こしてエジプト人から救って下さったという安堵感からなのです。しかし、ここで問題は、2、3日は続いたと思います。そう、民は喉が渇きました。水がありません。あなたはこう思うでしょう。あまり彼らに厳しくしないでください。更に状況が悪くなれば、私たちも同じことをするでしょうから。しかし、あなたはこう思うでしょう。今までの奇跡の数々は神が本当に超自然的な領域で完璧に行われた。あなたは目撃したのです。目の当たりにしています。変貌の山でのペテロのようにね。あなたは良いと思うでしょう。「良い事です。これで決まりです。」

「ああ、喉が渇いた。でも、神があれをして下さったなら、、、」神は何でもお出来になられます。でも、それは起こりません。何が起きたかわかりますか？「墓が足りなかったのか？」つまり、賛美の歌詞です。あの賛美ですね。民は、同じ賛美を歌い続ける。

「エジプトに十分な墓はないのか？」カポノ、それを歌わないようにしてね。「神は、我々を殺されなかったから、ここへ我々を殺すために連れてきたんだ。」

では、これを整理してみます。つまり、神があなたを救って下さり、十の災いから守って下さいます。劇的で奇跡的な方法であなたを救い出されます。そして、神は...こう言う感じです。

「これで、よし、これでいい。これがすべてです。喉が渇いて死にます。」
いいえ、違います！ 神は水を下さいませんか？(紅海の)水を割られたんですよ。なぜ神は、水を与えられませんか？ もちろん岩から水が湧き出る奇跡をされます。全て類型論です。で、私の言いたいことは？ 私が言いたいことは、「奇跡」です。奇跡は奇跡であって、それ自体では不十分だということです。十分とは、どういうことか分かりますか？ より確かな聖書の預言の御言葉です。奇跡ではなく。どうすればイエスが現実だとわかりますか？ イエスは本当に実在します。私が初めて救われた時それが私の

神学の全てでした。それしか知りませんでした。聖書をまだ全部読んでいませんでした。「イエスは現実。」本当に、本当に実在します。イエスは現実のご存在です。あなたはイエスが必要です。イエスは本当に、本当に現実だからです。私にはそれしかありませんでした。だって、本当ですから。イエスは現実です。私は、キリストの恵みで成長し、成熟していくにつれて、気づきはじめました。

「ちょっと待って。イエスは本当に現実なんだ！ そうだったんだ！ からかっているんですか？」さて、いくつか取り組む問題がありますね。もし私たちが前述のような保証、確信、真実、イエスが現実である証明、またご自分を現わされる望みを持つなら。ペテロが 19 節で書いている事に留意ください。「夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。」

それは戒め、訓戒です。ですから、このことを心に留め注目しましょう。言わば、私たちの聖書の腕、袖を捲るように、この問題を一緒に解決しましょう。最初の問題は何か？ これは大きな問題です。さらに悪化しています。それは聖書的文盲であり、体験を崇めるのがお決まりで、それが結果的にイエスを過小評価することになります。ペテロはこれを言及しました。なぜなら、彼はそれをしたからです。彼はイエスを貶め、その体験を高めたのです。

「これは.....なんという素晴らしい体験なのでしょう！ このままでは終われない！ あなたたちのためにマンションを建てよう。ここに居るのは良い事です！！」という具合です。しかし、そうすることで、イエスを貶めます。それが問題です。こんにちの教会は、体験値を高く上げます。それがイエスを犠牲にしています。つまり、参照基準となるのは何らかの経験なのです。

「お～わお～、ああ、あの礼拝。ああ、すごい！」と。そうなんですか？ とても感情的な体験に聞こえますね。あまり霊的なものではなくて。賛美曲とともに...これこそ、私が賛美リーダーのカポノに感謝する理由で、これについて少し調べてみると音楽について見つかります。私たちの脳はそのようにできています。神は私たちを礼拝するために創られました。実際に、変性意識状態になることができます。実際に、変性意識状態に入れます。音楽は、麻薬と同様に、強力で脳に作用します。歌っているときというのは、あなたは脳の両側を使います。女性は左脳、男性は右脳と言われますよね？ それって言い訳ですよ、女性の皆さん。あなた方女性をみると、(犬のように首をかしげる) 私たち男性には分かりません。ただ分からないんです。それは結婚の教えとして、また別の機会に。私たち男性の脳は、あなた方女性とは、全く別の範囲で機能します。それで、歌ってる時は脳の両側を使います。ご存知でしたか？ それが理由で、本当に疲れているときとか、特に木曜の夜は、ですね。以前、告白しましたが、時に、非常に疲れています。毎週毎週、木曜日はやって来ます。

「おお、主よ、私は本当に疲れています。今晚、本当に教会に行きたいのかわかりません。」それで気づくのです。「待てよ、私は牧師ではないか。私が聖書の学びを教えるんじゃないか。行かなくては。」それで自分を引きずって教会へ行きます。そして、賛美が始まると、「あ。。」ちなみに、そこには霊的要素も含まれます。敵が仕掛けてくるのは、だから聖書を読む時や祈る時、今まで経験したことのないような 睡魔が突然襲ってきます。目も開けていられません。聖書を読めば、不眠症に効果的です。(笑) しかし、ここで問題は、あなたは代用する必要があります。過剰に補わなければなりません。神の御言葉に置き換えねばなりません。より確かな御言葉である「聖書預言」に。それでは、どうしますか？「ええ私たちは、光ってはじめて、ふわふわ膨らむ。」この辺でやめておきます。まだありますけど、あなたが今していることは代用品を作り出しているのですよ。このような環境を作り出し、このような

経験をするのは、本物の神の御言葉がないからです。願わくは、牧師たちが、「聖書預言・アップデート」でこれを話しましたが、牧師たちが、神に立ち帰り御言葉を説きますように。いつのまにか神の御言葉を信頼しなくなり、流行に敏感な存在になることを選んだ。スキニージーンズを買うようになった。(笑) それは私には無理...絶対無理。(笑) これが問題です。大きな問題です。このようなことを言うのは強引でしょうが、強引でなければならないのは、ここに真実があるからです。試練に打ちのめされた時、経験では持ちこたえられません。御言葉によって養われていない人が気の毒です。成長しないからです。彼らは弱く、飢えていて、霊的に栄養失調です。人生が何かにおち当たると、そう、人生はぶち当たりますよ。土台がしっかりしていないから、潰れてしまいます。イエスが説かれた「二人の建築家」のたとえ話です。二人が家を建てます。一人は岩の上、もう一人は砂の上です。二人の違いは何だったのでしょうか？ 岩の上に家を建てた人は、嵐が襲う時、びくともしませんでした。砂の上に家を建てた人は、バン！と倒れました。イエスは仰いました

「倒れ方はひどいものでした。」(マタイ 7:27)

違いは何か？ 岩の上に家を建てた人は、御言葉を聞くだけではありませんでした。砂の上に家を建てた人、砂の人は、同じ御言葉を聞いていましたが、岩の上に家を建てた人との違いは、岩の人は、この方がいいですね。彼は実行しました。御言葉を知り、御言葉を聞き、御言葉を実行しました。人生がぶち当たり、嵐に見舞われ、打ちのめされても、彼は不動で、土台が岩のように固い。教会に座って、ふわふわとした時間を過ごしている人々を綿菓子クリスチャンと呼びます。愛情を込めて言っています。彼らに、電話がかかって来る。息子と娘が交通事故。診断結果を受け取り、身辺整理をなささいとなる。彼らはどこに行くのでしょうか？ 経験したことへ行くのですか？ 今すぐイエスが現実だと知ってほしい。あなたが聖書の御言葉やより確かな聖書預言の成就に固く立っていないことを恥じなさい。イエスは御言葉を成就されるのですよ。私はこの土台の上に立っているので大きな音をたてて倒れたりしません。これは一つの問題に過ぎず、もう一つあります。さっと見てみましょう。気を落とさないでください。この問題は、神がイエスの現れのために選び、用いるため召された道具としての人です。ペテロが「聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではない」と言うのは、この点を真っ向から指摘するからです。彼が言っている意味がわかりますよね？ ペテロは、書き手の人間が、神の靈感を受けたと言っています。このこともまた、人が御言葉に対する疑いと不確かさに支配されるという意味で大きな問題です。それが起こる器という旗印で彼らは、退けてしまうからです。「私には分からない。」いいえ、より確かな預言の御言葉です。「私には分からない。だって、書いたのは人間ですよ？」ところで...この書き手の何人かは...あまり良い経歴を持っていません。かなり波瀾万丈な過去のある人もいますよ。あなたは気づいてないかもしれませんが、どうやって、この問題を解決しましょうか？ 神の二重著作の奇跡と呼ぶもので解決しましょう。ある人が適切に言いました。「神は曲がった不完全な棒でまっすぐ完璧な線を引かれる。」神の二重の著作権です。ですから、私たちの手元には、因みに、聖書の翻訳について、何年か前にとっても良い文書がありました。どのような翻訳であれ、他より好ましいものもありますが、これは無謬の「無謬の」神の御言葉です。どうか、どうか、お願いですから、誰にもこんな風に、疑いの種を植え付けしないでください。

「そのバージョンは、色々削除されているんですよ。」「え～そうなんですか？」どういうことか分かりますよね？ それであなたは突然、疑い始めます。お～サタンはそれで絶好調なのです。明らかに、サタンの全意図は、クリスチャンや、敢えて言えば牧師が、無謬の神の御言葉への信頼を失うよう仕向けること

です。質問させてください。神がお出来にならないと思いますか？ 御言葉を守られないとでも？「ええ、でも変更されましたから。」あ、すみません。聖書から落ちました。メモです。お～妻からです。「長い話はしないで。」OK。元に戻しておきます。すみません。もう一回、笑いが必要でしたからね。臍臓のためでした。きっと。サタンの唯一の目的は、神の御言葉に対する自信を失わせ、疑わせることです。どうか、お願いします。神の御言葉は無謬です。「ああ、でも人間が翻訳したものですよね。」そうです。でも神がそこにおられました。「ああ、でも書き手たちは混乱させました。」そうです。でも神はその混乱を取って、完璧なものにしてくださいました。神は、曲がった棒で完璧な直線を引かれました。問題解決。何が問題ですか？ もう問題はありませんよ。ないのを願います。OK。なぜそれが重要なんですか？理由は、イエスは何よりもまず、御言葉によって御自身を現実になります。あつちに経験があつて、かつこいい。わお～私も経験してみたかったです。ええ、あなたは招かれていません。ペテロとヤコブとヨハネだけです。おお、あれは本当に素晴らしいです。でも、私にはこれ（聖書）があります。私には、これ（聖書）があります。（聖書）中には何があるのでしょうか？ 驚かれるでしょうが、旧約聖書の中には、イエスに関する預言が322もあります。322。なるほど。しかし具体性は、322の預言はすべて、イエスだけが成就され、成就できます。このような統計的な数字に興味をお持ちの方もおられるでしょうし私はそのような人に大変敬意を表します。私もそうであればと願います。ある意味、神聖な気持ちで切望します。でも、そういうことができる脳を持った人もいます。私には無理です。

2+2=4 私は、それでいいと思っています。そこまででいいんです。しかし、旧約聖書の322の預言がすべて具体的にイエスが成就する確率を統計的、数学的に計算した人たちがいます。統計的な確率をご存じですか？ その数字を知っていますか？ 誰にも分からない。計算不可能です。計り知れません。ピーター・ストナーという名前の教授が、残念な苗字です。（マリファナを吸う人）—(笑)—実際に計算してみると、一人の人が成就する確率は、「8」です。322のうち「8」です。指で示すとき、指を出すときは気をつけないとね。「8」です。「8」322のうち「8」彼は計算しました。「8」です。322の預言のうち、たった「8」を一人の人が成就する統計的確率とは数学的にどのくらいなのでしょう？ 彼曰くは、まず、この数字、口座番号の中には、ゼロばかりずらっと何個あるかわからないものがありますよね。ですから、手で押さえてそれを数えます。なぜ、そんなことをするのでしょうか？ 意図的です。これらすべてのゼロ。たった「8」ですよ。しかし、彼はそれをこう見据えました。

「銀貨を集めて、テキサス州全土に敷き詰めるようなもので、2フィートの厚さの銀貨で州を覆う事になる。」

テキサス州は大きな州ですから、銀貨がたくさん要りますね。厚さ2フィートの銀貨？ 州全体？ なるほど、それは大きな数ですね。ゼロがたくさん。まだ終わっていませんよ。

「この銀貨の1枚だけにしるしを付けて、徹底的に全体をかき混ぜる。そして、ある人に目隠しをして、1つだけ選ぶように言う。」

待って。何て？ 1つだけ？ テキサス州全体を2フィートの厚さの銀貨で埋めつくして、その中から1つを選べというの？ チャンスは何回あるのですか？「1回です。」では、正しい1つを選ぶチャンスはあるのでしょうか？ 準備はいいですか？ 言いますよ。預言者たちが「8」の預言を書き、それが一人の人に起こると同じ確率です。「8」もういいですね。イエスは実在されるのでしょうか？ 信じた方がいいですよ。テキサス州が2フィートの厚さの銀貨で覆われているのを聞きました？ イエスは現実です。イエスは現実のご存在です。間違いありません。間違いなく、確信します。

では、結論です。ご忍耐感謝します。その理由は、こうです。私たちは、別の説教が必要なほどです。そう、3ポイント、「家に帰って、昼食を食べて」、「その日一日を過ごし」、「一週間の準備をする。」

「JD 牧師、本当にありがとうございます。素晴らしい説教でした。ごきげんよう。おしまい。」

違います。理由があります。理由があるんです。その理由は、

世は日を追うごとに暗くなるようですが、聖霊によってペテロはこう言います。

「イエスの光は、日を追うごとに明るく輝きます。」私たちはそれに目を留める事です。この先、暗い日々が来ます。同意されますか？ しない方が良いのは、その時では、手遅れになってしまいます。過去に遡ってすべての点と点を繋げ始め、保証や確信を持ってても、その時には手遅れでしょう。絶対的な確信でも。より確かな御言葉は、反論の余地がないほど確かです。あなたは不動です。なぜか？「8」ですよ。「8」だけ。間違いありません。もう準備しておいたほうがいいですよ。その時が来るからです。それがこれから起こることですよ。このためにペテロは、この手紙を書いています。そして、主の御心なら、来週、私たちはこれを学びます。ペテロは、何が起こるかを知っていて、実際、すでにそこにあります。何が来るのか？ 何が起こるのか？「偽教師」彼らの中に偽教師が入って来ます。なぜなら、サタンが教会を放っておかないからです。「勝てないなら、仲間になろう。」ですから、このような偽教師を送り込んで、教会に参加させます。彼らが、癌のように広がり始め、教会に触手を伸ばしてきます。すると、どうなるのか？ 突然あなたはこうなります。

「ふむ。。興味深いね。神道的進化論。ふむ。。つまり、神が創造されたけれども、進化を利用されたのか。お～じゃあ、イエスだけでは十分ではないってこと？ 水のバプテスマを受けなければ救われないということ？ ふむ。。おお、新使徒的宗教改革 (NAR) って、教会、クリスチャンが世を支配する？ 七つの山の制覇：教育、政府、その全て。それから、イエスが戻って来られる？ ふむ。。本当に？ 待って下さい。つまり、イエスは多くのアセンデッドマスターの一人に過ぎないということですか？ ふむ。。いいえ、違います。下がれ、サタン。あなたは偽教師、偽りの教義だ。それは悪魔の教義だ。惜しかったな。私は（聖書）で確信します。私は（聖書）で確信します。」

ほ～変貌の山にいたんですか？ いいえ、その必要はありません。聖書がありますから。私は確信します。イエスは実在します。あなたは偽物だ。」

イエスは現実です。

「すべての人が偽り者であるとしても、神は真実な方であるとすべきです。」(ローマ 3:4)

私はそれを確信します。間違いなく。OK。完了しました。-(笑)- 主を褒め称えます。へへへ。カポノ、上がってきてください。締めくくりが本当にスムーズでしょ？ -(笑)- 賜物です！！

お立ちください。ええ、不在の2週間に練習したんです。お～主よ、どうか、ここから先をお願いします。あなたは、いろいろな個性を用いられました。ルカは医者で、「福音書」だけでなく、「使徒の働き」を書かせられました。彼は専門家で、医学博士のようです。しかし、あなたは彼を用いられます。マタイは取税人でした。彼を用いられるなら、私を用いられます。そして、私たちの友で兄弟のペテロ。お～主よ、ありがとうございます。個性や気質を用いられ、曲がった棒で、完璧な直線を引いて下さることに感謝します。主よ、あなたの御言葉に感謝します。私たちが立てる、確かな御言葉をありがとうございます。主よ、確信と確証を感謝します。主よ、経験ももちろん好きですが、それ以上に、より確かな御言葉と、あなたが御言葉をどのように成就されたかに心から感謝します。主よ、今日の御言葉、この御言葉をありがとうございます。イエス様の御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7